

令和4年第1回（1月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年1月27日（木曜日） 15時30分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 本館3階 第2委員会室

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	岡 原 一 恵	教育次長兼教育総務課長	吉 岡 忠 司
教育総務課主幹	浅 川 緑	学校教育課長	長 友 義 彦
学校給食センター所長	山 本 修 一	社会教育課長	船 林 康 則
社会教育課長補佐	池 田 哲 也	社会教育課主査	日 浦 操
社会教育課人権教育係長	來 嶋 孝 明	社会教育課公民館係長	柿 並 健 吾
社会教育課文化財係長	安 藤 知 恵	中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦
歴史民俗資料館長	若 山 さやか	書 記	福 田 麻奈美

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 報告第1号 令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について (学校教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事異動について (学校教育課)

② 市職員の人事異動について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉 会

開 会

○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、1月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。
本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

会議録署名委員の指名

○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は砂川委員、末永委員よろしくお願い致します。

会議非公開の決定

○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事異動」及び「市費職員の人事異動について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めてまいります。

各課・館業務の報告

○長谷川教育長

報告事項に入ります。私から3件、報告をさせていただきます。

1件目はコロナ対応についてです。昨日、県のコロナ対策本部会議において、2月1日から2月20日までの期間、県内全域で感染拡大防止集中対策が取られるという決定がございました。これを受けまして、市においても昨日、対策本部会議が開催されたところです。その中で、県有施設を一斉に止めないという県の方針を受けまして、本市でも児童館やスマイルキッズ、石丸総合館を除く公民館等の市有施設の閉鎖は行わないことになりました。しかし感染リスクの高い活動については、利用を自粛する依頼を行う旨を各施設に通知したところです。これにより活動を自粛された利用者については、キャンセル料を徴収しないこととされました。学校においては、先日メールでお知らせした通り、児童生徒の複数の感染者が確認され、一つの該当校で学級閉鎖を実施している状況があります。今後の感染者の増加が懸念されることから、地域の感染レベルをこれまでレベル2であったところをレベル3へと引き上げ、教育活動を行ってまいります。詳細については、担当課から報告をさせます。

2件目は、1月9日に開催しました成人式についてです。今年度は1会場2部制で感染症対策を徹底しての開催となりました。新成人のマナーもよく、登壇者の礼に合わせて礼を返す集団が見られたり、こちらの挨拶の後拍手を送ってくれる新成人もおりました。そういった様子を見て、主催者としても大変うれしく思った次第です。来年度は18歳以上が成人となりますが、本市では20歳になる若者を対象とした式にする方向が決定しております。申し添えておきます。

3件目は、1月21日に厚狭複合施設で行いました県教育委員会との教育長協議会についてです。この会では県教育委員会の所管事項と市内小中学校についての諸課題を共有し、長期展望に立った人事構想について協議をいたしました。教育長室隣の会議室も人事部屋となります。いよいよ人事が動き出すというところです。

報告は以上です。私からの報告に何かご質問等ございますでしょうか。

(「ありません。」の声あり)

それでは教育部長、お願いします。

○岡原教育部長

はい。それでは私からも、新型コロナウイルス感染症対策についてご報告です。本部会議での決定事項等は今、教育長からの報告があったとおりでございます。主に公共施設の利用について、昨年夏にデルタ株の拡大防止対策の時に公共施設の新規予約を止めるなどの制限があったわけですが、今回については大声を出さない、飲食しないなど、他の公共施設と同様に感染拡大予防対策を徹底しながらご利用いただくということで、公共施設の閉鎖・予約制限などは行いません。今回の適用期間以降年度末にかけて、教育委員会関係では様々な行事が予定されておりますが、感染状況を注視しながら実施について検討していく事になろうかと考えております。私からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。施設の利用等、よろしいでしょうか。

(「ありません。」の声あり)

はい。それでは教育次長兼教育総務課長お願いします。

○吉岡教育次長兼教育総務課長

はい。では教育総務課から2点ほどご報告をさせていただきます。

1点目は、お手元の資料の中にこの1か月間に教育委員会が後援を承諾した行事等の一覧を入れておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

2点目は教育総務課関係の事業についてご報告をいたします。まず旧埴生小学校の解体については、完了検査が終了し全て完了しております。次に旧埴生小学校グラウンド法面の整備事業についてですが、現在法面にコンクリートの吹き付け作業を行っております。

次に高千帆小学校校舎建築事業についてです。校舎建築予定地の地下に炭鉱の跡、空洞があることが調査の結果分かっておりますので、その空洞をコンクリートなどで埋める作業を現在も行っております。また、4月から高千帆小学校で普通教室が一つ増えるということで、新しい教室の増設のため机・イス等の備品購入の準備を行っているところです。

また、津布田小学校の統合につきましては、備品等の埴生小学校への引っ越し、それからスクールバスのレンタル業者の選定を進めております。教育総務課からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等ございますか。

(「ありません。」の声あり)

それでは学校教育課長、お願いします。

○長友学校教育課長

はい。学校教育課から報告いたします。

1月11日に全ての学校が順調に3学期をスタートしました。中学校では始業式前の冬休み中に、私立高校の推薦入試が行われるなど、受験シーズンにもあたります。本市では昨年度末の入試において、不適切な進路事務により、当該生徒、保護者に多大な迷惑をかけるとともに、学校の信頼を損なうという事案がありました。先日同様の事案が他市においても発覚しました。本市では、中学校教頭会・校長会で作成した入試事務マニュアルに従い、生徒・保護者に周知するとともに、教員には適切に事務を行うよう再度指示をしているところです。

次に、新型コロナウイルス感染症関係について報告いたします。1月26日の時点で、本市の児童生徒陽性者は8名、学級閉鎖をしている学級が一つあります。罹患した子ども達はいずれも無症状、又は一過性の発熱・鼻水・のどの痛み等の軽症と聞いております。1日も早い回復を祈っているところです。学校ではこれに伴いレベル3の対応に変わっております。マスコミ等では児童生徒間でのまん延が報道されているところですが、山陽小野田市の状況としては児童生徒間で広がっている様子は今のところはありません。これも体調が悪い時点で学校を休ませる、早めに医療機関にかかるなど、早め早めの対応をし、学校にウイルスを持ち込ませないことに保護者の協力があるおかげだと感じております。学級閉鎖となった学級では、担任も自宅待機となっておりますが、端末を使って子ども達と交流をし、学習保障をしています。端末を使って顔の見える交流を行うことは、自宅から外に出ることのできない児童生徒にとって、安心感を与えるものであると考えております。学習保障も大切にしておりますが、子供の心理的ケアも実施しております。市教育委員会としましてはこうした取り組みを奨励するとともに、こういったリモートの学習をICTに堪能な教員のみが行うのではなく、組織的に実施する体制を整えるように指示をしたところです。

次に、延期となっていた修学旅行についてです。埴生小学校・津布田小学校の合同修学旅行は、1月24、25日に実施されました。オミクロン株のまん延で心配されていましたが、宿泊を取りやめ2日間の日帰り旅行に変更されました。昼食介助、バスの中など感染対策を徹底しております。現在、参加者の健康観察を実施しておりますが、体調不良を訴える児童は本日朝の時点でおりません。

最後に、学校におきましては1月27日からレベル3の対応となっております。レベル3の対応では、マスク着用・換気・手指の消毒・うがい等これまでの取り組みの一層の徹底に加え、感染リスクの高い活動の禁止、部活によっては可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら、なるべく個人の活動とするとともに、対外試合、合同練習の禁止などを行っております。学校にウイルスを持ち込ませないよう、引き続き保護者の協力を求めていると考えております。以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。今児童が8名陽性、学級閉鎖が行われているのが一クラスということで、今その子たちがどういうふうに過ごしているかなと思って、色々な声を聞いてみたんですけど、皆さんタブレット端末を持ち帰ってすごく楽しく学習できています、外に出づらいのと友達と会えないのはすごく寂しいけれど、元気に授業、勉強できてますよという風に何名かおっしゃっていたので、私もとても安心しました。急な事だったと思うんですけど、すぐに対応していただいて本当にありがとうございました。

あと、学級閉鎖とお休みの期間に学校のレベルが上がってますので、その兄弟の子たちも休んでるんですね。1週間休んでたかと思うんですけど、検査結果が出るまで。その子たちの学級は通常に授業を行われてますので、その子たちにもICTを使って何かできていれば尚良かったかなと思います。すごく急な事だったんで難しかったと思うんですけど、もし今後そういうことがありましたら、少し工夫していただけるとありがたいかなと思います。でも、みんなすごく楽しく学べて良いよという声は聞きました。以上です。

○長友学校教育課長

はい。学級閉鎖以外の、個別に休んで出席停止になっている子供につきましては、学級によっては端末を使った学習というのも展開されていると聞いております。ただ、全てとは言えないところもありますので、先程申しましたように、できる人だけができるというのではなくて、色々な先生が手伝って学校体制でできるように指示をしております。今後端末さえ持って帰ればそうした学習ができるように、体制を今一度見直していきたいと思っております。

○長谷川教育長

よろしいですか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

今回学級閉鎖になった学校を見ると、担任も濃厚接触者になってしまうんですね。そうすると、オンラインによる授業提供がなかなか難しくなります。やはりその辺の難しさもあり、加えて、オミクロン株の感染力がかなり強いということで、濃厚接触者に指定された場合に休まないといけないうんですね、教職員も。そうすると、今度は学校運営が難しくなる、よく言われる授業が継続できなくなるという事が心配されます。これから先生方が濃厚接触者になったりした場合の学校運営というのは非常に厳しい状況がありますが、柔軟に乗り越える工夫をしていかないといけないと思っています。

それでは、学校給食センター所長お願いします。

○山本学校給食センター所長

はい。学校給食センターからご報告いたします。

毎年1月24日から30日までの1週間は、全国学校給食週間となっております。これにちなみまして当センターにおきましても、1月20日から1月26日までの5日間の献立は、これまでの学校給食の歴史を振り返る献立を実施いたしました。主な献立をご紹介しますと、1月20日は給食の始まりということで、サケの塩焼き・すいとん汁・たくあんのゴマ和え、1月24日は米飯給食の始まりということで、麦ごはんとポークカレー、最後の1月26日には多様化した給食と銘打ってロシア料理、ビーフストロガノフとオリビエサラダの献立を実施いたしました。この学校給食週間に合わせて、各学校の児童から給食調理員や栄養教諭あてに、日頃の給食の感想や感謝

の思いを記したお手紙をいただいております。このように、この取り組みは児童生徒の皆様に学校給食について考えていただく良い機会となっておりますので、引き続き継続して実施したいと考えております。センターからは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

(「ありません。」の声あり)

先程学校の機能を維持していく事が難しくなってくる可能性があるという話をしました。給食センターも止まっては困りますよね。その辺の工夫、検討はしておられると思うんですけど、子ども達の給食を止めない工夫をしておいていただけたらと思います。最後は牛乳だけになるんでしょうかね。

○山本学校給食センター所長

はい、そうなるかと思えます。

○長谷川教育長

よろしくをお願いします。

それでは社会教育課長をお願いします。

○船林社会教育課長

はい。それでは社会教育課からご報告を申し上げます。

先程教育長及び部長からもお話がありましたが、コロナの対策会議による公民館等社会教育施設の対応についてです。市の方針に従いまして、利用はしていただけるんですが感染予防対策を徹底して利用していただくということにしております。また、利用者さんの判断によってリスク回避のためにキャンセルをされた場合には、これも市の方針に従いまして100パーセント還付することとしております。

続きまして新聞記事に関する情報ですが、成人式の件です。これも先程教育長からお話がありましたが、1月9日に成人式を開催することができました。左側の山口新聞の記事の中に県内の各市町の開催状況が載っておりますが、この時点では県の東部にコロナの感染が拡大しておりましたので、県の東部地域においては延期または中止となったところが多く、県の中部から西部にかけては予定通り開催ができたという状況でした。山陽小野田市においては、対象者699人のうち465人が参加をし、コロナ前の例年の状況に戻ったと言えると思います。感染症対策をしっかり行い、この度も保護者の方には中に入っていたいただかないということにしましたので、前回と同様に公式インスタグラムを利用して式典のライブ配信を行い、多くの方々にご覧いただきました。成人式に関しては以上です。

続きまして、市のヒューマンフェスタでございます。1月15日(土)に市民活動推進課と人権教育推進協議会との共催により、ヒューマンフェスタを開催しました。昨年度のこの事業はコロナ禍により中止となりましたが、今年度は会場とオンラインのどちらでも参加できるハイブリッド形式とし、人権に関する標語ポスターの優秀作品の表彰と講演を行いました。広島からオンラインにより広島県原爆被害者団体協議会の理事長の箕牧智之先生にご講演をいただきました。講演では「被爆体験証言と未来へ向けてのメッセージ」と題して、ご自身の被爆体験と平和活動についてお話をいただき、戦争や核兵器がいかに人間の尊厳や生きる権利を踏みにじるものであったかということをお訴えられました。また、唯一の被爆国の国民として、世界のため、日本のために何をすべきかということについて深く考える機会となりました。また講演の終わりには箕牧先生の奥様が生前に作

成された、人権に関するメッセージを描かれた墨絵を紹介していただき、この色紙を事前に5枚送っていただいておりますので、会場参加者の中から5名の方にプレゼントいたしました。

社会教育課からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等ございますか。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

今課長のご報告が終わってから発言させていただこうと待っていたんですけど、成人式についてです。私、長く教育委員をさせてもらっていますから成人式に欠かさず出席させていただいていました。成人式は教育委員会が主催し、法律が変わって無くなりましたけど、教育委員長が演壇で一番最初に開会の挨拶をされて、それから市の標語の唱和等がありました。教育委員長が演壇に上がって市長の隣にいつも座っていました。我々普通その他の教育委員は4人がそろって来賓席で一番前に座って成人式の様子を見させていただきました。特に私が成人式に思い入れがあるのは白井前市長さん、藤田市長さんが英語を交えながら本当に心に響くような良いご挨拶をされます。その後成人を代表して、自分から名乗り出られて、なかなか良いことを言うなという人を選ばれて、成人の色んな思いをしっかりと発表されておられました。やはり、そういう成人の姿を見て、これからあるべき教育界というものを考える時に、やはり成人式は教育委員は出るべきだと思っておりました。ただコロナでこうなってしまったために、保護者の方も本当は当然式場に入られるべきだと思うんですけども、我々教育委員も今回2部制になりましたから、午前中に2人午後に2人が一番前の席に座らせていただきまして、市長さんのご挨拶とか成人のご挨拶を聞かせてもらいたいと思いました。他にも色々ご都合もございまして、委員だけがこういったことができるのが駄目だと言われてたらそれまでなんですけど、教育委員たるもの成人式に出て当たり前だと私は思っていたものですから。先程教育長がご報告で拍手が出るほどのご挨拶があったと言われていましたけれども、おそらくそういうような良い事を市長さんが言われたんじゃないかなと思っております。成人式は2年続けて出ることではできなかったんですけども、出してもらいたかったなということをおっしゃっていただきました。どうもご苦労様でした。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございます。気持ちはとてもありがたく、今、お聞きしたところです。卒業式がありますので、卒業式はどうかよろしく願いいたします。来年はみんなで成人が祝えるといいですね。来年は新しいスタートを切ります。成人式ではなく何らか、名前も変更して行うようになるんだろうと思いますので、またよろしく願いいたします。

それでは図書館長、よろしく願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧いただければと思います。12月1月の行事報告のページの中で資料展示について1点触れさせていただきます。現在展示ホールで「短歌の世界～かるたのまち 山陽小野田～」を、2月2日まで展示をしております。和泉式部とも縁があるということで、和泉式部のイラスト入りの看板もそこに飾らせていただいているところです。

それから1月2月の行事予定ですけれども、図書館システム更新及び特別整理ということで、2月14日（月）から2月28日（月）まで2週間ほど休館させていただく予定にしております。この中で蔵書点検と図書館システムの更新作業を行う予定にしており、3月1日（火）に新システム稼働できるよう、今作業を進めているところでございます。

講演会等につきましては、今度の土曜日『第12回共生のまちづくり講座「ロービジョンだけどハイテンションでいこう！」』という、例年1回共生のまちづくり講座を行っておりますが、今回は宇部高専の島袋先生にお越しいただいてこのテーマでお話していただくことにしております。それから2月5日（土）の「サイエンスカフェ」、今回のテーマは相対性理論ということで、割と人気があって、もう締め切っております。カフェではありませんけど飲食は中止で、カフェなしの講座ということになります。それから2月6日は放送大学連携公開講座として、漱石の『草枕』を読むという講座が予定されています。2月12日（土）は「英語でおはなし会」を載せていますが、これは未就学児も参加するというので、中止とさせていただきます。

それから来館者数と貸出点数の推移をご覧いただければと思います。四半期ごとに数字をお示ししておりますが、数字をご覧いただくと増えているのはお分かりいただけると思います。これを1日当たりの貸出点数、来館者数で昨年度と比較しましたら、それぞれ5%増えているということになりました。図書館からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

はい、質問ではないんですけれども、山本館長とは小野田小学校の学校運営協議会で一緒に、その際に「ぜひ中学生のおすすめの本を小学校にも展示してください」というお願いをしたところ、「それはいいですね、ぜひ」ということで今回、コーナーを設けてくださいました。それを私も学校に行った時に見せていただいたんですけど、本もそうですけどイラスト等もすごい完成度の高いイラストで、とてもいいコーナーができていたと思いました。運営協議会でそういう話をしてみて、こうやって色々な事が実現できて連携が取れていくっていうのは、本当に素晴らしいなと思いました。ありがとうございました。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

こちらこそありがとうございます。

○長谷川教育長

実は私、このサイエンスカフェのテーマにとっても興味があって申し込みをしようかと思っていたところなんですけど、いっぱいになったんですね。本市は理科大もあって、理数教育を充実させていきたいという思いが強いです。そういった意味ではすごくいいですね、このサイエンスカフェとか色々な取り組みがなされていること。また機会があればよろしく願います。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

ぜひご参加くださいませ。

○長谷川教育長

それから電子図書ですが、委員の皆さん、もう体験されたでしょうか。蔵書もこれから充実していきますので、ぜひ目を通していただけたらと思います。

それでは次に参ります。歴史民俗資料館長、よろしく申し上げます。

○若山歴史民俗資料館長

はい、歴史民俗資料館からご報告します。

お配りしておりますチラシをご覧ください。2月18日（金）から3月20日（日）に、企画展「火とともにある暮らし—昔の道具展—」を開催いたします。今年度最後の企画展で、3月には関連講演会も開催予定です。資料館には市内小学3年生が社会科見学で昔の暮らしと道具について学びに来館しますが、火を扱うことに関する子供たちの反応を見ると、実際の生活の中で火を使う場面や見る機会がなく、道具の使い方が分からなくなるだけでなく、「火を灯す」とか「薪をくべる」「炭を熾す」「マッチを擦る」といった言葉も、子ども達の中から失われていくのを実感しております。そこで火を扱う様々な道具を紹介し、使い方や道具の起こりなどを紹介します。懐かしいものから珍しいものまで約100点ほど展示いたしますので、多くの方に来館していただけるよう現在、広報活動をしているところです。資料館からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等ございますか。

（「ありません。」の声あり）

懐かしい道具がありますね。もう火鉢って言っても子ども達、分からないでしょうね。ぜひまた見ていただけたらと思います。

それでは今日は小学校長会、中学校長会は所用のため欠席ですので、報告は以上となります。

次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回会議日程について、教育次長よろしく申し上げます。

○吉岡教育次長兼教育課長

はい。次回の会議日程でございます。まず3月市議会提出議題がありますので、教育委員会会議の臨時会を2月8日（火）18時から市役所にて開催させていただきたいと思っております。なお、当日は本館の工事中のため本館からの出入りができませんので、別館1階入口からお入りください。

次に2月定例会です。2月17日（木）、日にちに関しては予定通りですが、時間を変更し1時半からとしたいと思います。場所は本日と同じ第2委員会室です。よろしく願いいたします。

○長谷川教育長

はい。次回会議日程について、よろしいでしょうか。

（「はい。」の声あり）

よろしく願いいたします。

それでは前半を終了いたします。どうもお疲れさまでした。

16時06分休憩

16時07分再開

報告第1号 令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について

○長谷川教育長

それでは議事に入ります。

報告第1号「令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局お願いいたします。

○長友学校教育課長

はい。「令和4年度全国学力・学習状況調査への参加について」報告いたします。国が実施しております、全国学力・学習状況調査の目的については3ページにある資料をご覧ください。本調査につきましては本市におきまして平成19年度から毎年参加し、学力の定着状況を分析し課題解決に向け学校全体で取組を指導、助言しております。令和3年度は4月20日実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う長期休校の影響を考慮し5月27日に延期され、小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語・算数・数学の2教科の学力調査、それから質問紙調査が実施されました。なお、厚狭中学校は修学旅行と重なったため、国・県の許可を得て6月3日に実施しております。令和4年度においては4月19日に小学校6年生、中学校3年生を対象として、国語・算数・数学に理科を加えた3教科の学力調査が実施されます。なお、質問紙調査は4月19日から26日までの間にオンラインで実施される予定です。本市の学力の定着や学習の状況を確認し課題を解決するためにも、令和4年度も本調査に参加することをご報告いたします。以上です。

○長谷川教育長

はい、ただ今の件に関しましてご意見ご質問等ありませんか。

(「ありません。」の声あり)

オンラインでの調査は初めてですよ。

○長友学校教育課長

はい。オンラインの調査は初めてでございます。事前に1人1台端末が配られているかどうか、それから、参加することが可能かどうかの調査はありました。本市は環境も整っておりますので質問紙調査、子どもの学習の状況を示す調査なんですが、そちらの方のアンケート調査にオンラインで参加することとしております。

○長谷川教育長

はい。それでは採決をいたします。報告第1号「令和4年度全国学力・学習調査への参加について」原案通り決することにご異議はないでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい、ありがとうございます。全員賛成により報告第1号は承認をされました。

その他

○長谷川教育長

次に「その他」でございますが、（１）県費負担教職員の人事異動について、（２）市職員の人事異動については非公開ですので、後ほど審議をさせていただきます。それでは（３）その他について事務局の方で何かありましたらよろしくをお願いします。

○吉岡教育次長兼教育総務課長

はい。教育総務課からは昨年１２月の定例会でお話しました通り、山陽小野田市教育振興基本計画（案）についてご意見ご質問等ありましたらお受けしたいと思います。

○長谷川教育長

委員の皆さん、山陽小野田市教育振興基本計画の方の準備をお願いします。この件に関して何かご意見ご質問等ありましたらお願いします。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。９ページのところで少しお聞きします。目標指標として不登校児童生徒数の割合っていうのを掲げられているんですが、不登校児童、とても大切な問題だろうなと私も個人的に感じております。この２年間見ましてもちょっと増えているのかなというのを肌で感じています。今言う不登校児童というのは私がすごく感じているのはいじめももちろんなんですけどそこではなくて、もっと違う理由で、その子の特性だったり家庭環境だったり、不登校の理由ってすごく多様化している。もしかしたら前からなのかもしれないんですけど、私が今実際保護者として過ごしている中で、すごくその子一人一人の理由だなというのを感じております。その子一人一人が困って、そのお父さんお母さんたちも困って、というのが現状です。そういう現状をすごく感じていたんですけど、この指標についての主な取組にいじめっていうのが大々的に出ていて、それももちろん大切なんですけど、いじめと不登校っていうのも並んで書かれていますし。そこは一緒にしてもいいものなのかなというのを個人的にちょっと違和感を感じたので、今お伝えさせていただきました。いじめと不登校を分けてもいいかなと思いますし、不登校が広がっているので、対策をもっとここに盛り込んでもいいかなというの個人的に思いました。特に、不登校対策として適応指導教室とか教育相談とか、すごくたくさんやっていたかと思うんですが、ここに今ICT環境を利用した色々な試みもされようとしているかと思しますので、そういうのはちょっと具体的すぎるんですかね、ここに盛り込むには。そういうこともここにあるといいかなっていうのは感じました。以上です。

○長谷川教育長

はい。今末永委員のご指摘２件ありました。まず１つはいじめと不登校、これを併記するから一つの物みたいに見えてしまうんですけども、少し別々な取り扱いをしていくと分かりやすいのではという気付き。もう１点は、もう少し具体的な取組について、たくさん色々な事がありますよね。取組は行っているんですけども、ここは主な取組ということで大きくまとめてあるので、詳細についてあまりよく見えないというご指摘だろうと思います。詳細についてはもっと細かい計画があるので、そちらの方を見てもらうことになろうかと思うんですが、担当課として何かご意見ありますか。

○長友学校教育課長

はい。ご意見ありがとうございます。不登校といじめが直接関係しているという事例は今のところないというのが現状です。ただご指摘の通り、不登校の理由というのは様々であり複雑に絡み合ったりしておりますので、何が直接の原因かっていうのはなかなか難しいところではございます。学校教育課としましては、いじめ・不登校は別々の現象ですけれども、基本施策にありますように心に寄り添う、子ども達一人一人に寄り添う事がまずは大切だと考えております。学校におきましても、子ども達に寄り添うこと、それがいじめの防止にもなるし不登校の防止にも繋がるという考え方で進めております。具体的な事業として教育長が指摘されますように、いじめ・不登校を併記するのでその辺り語弊を招くというか、そういったところはあるんですが、思いとしては寄り添いたいということでございます。

もう一つの適応指導教室、ふれあい相談室での活動につきましては、ICTの活用なども今現在進めております。少しずつですが、ふれあい相談室の方に子供に配られた端末を置いてそこで学習したり、状況が良ければ持って帰ったりするところもあります。まだ端末を届けられていないという状況もあります。少しずつそういったところも進めながら、ICTを活用した学校の担任の先生との面談であるとか、そうしたことも少しずつ取り組んでいるところではあります。ここに思い切って書いてもいいところではあるんですけども、ちょっと細くなる部分もありますので、「学習指導、進路相談を指導の充実」というところで丸めさせていただいております。

○長谷川教育長

よろしいですか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

この部分の記述については委員会の方で質問が色々となりました。やはり改善の余地はあろうかと思っておりますので、今後また検討する材料にさせていただけたらと思います。他によろしいでしょうか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

はい。10ページの「学校間連携教育の推進」というところで、「地域連携カリキュラムの作成の中学校数」ですけれども、現在1校を7年度に6校、この目標はあくまでも目標だとは思いますが、これは毎年1校ずつやっていくとか何かもうちょっと具体的な策を持っておられるのでしょうか。

○長谷川教育長

はい、学校教育課長。

○長友学校教育課長

はい。小・中学校が連携した学校地域連携カリキュラムにつきましては、今かなり作らせているところですが、実際に運用しているところは1校というところで、改善しながら進めているところも数校あります。作成の方を取組んでいる学校もあります。できるだけ早くカリキュラムは作成してもらい、カリキュラムを作成するだけではなくてそれを運用して、また課題があればもう一度見

直すといった検証改善をしながら、良いものを作り上げたいと思っておりますので、令和7年度には6校が十分に運用できているという姿を想定しております。

○長谷川教育長

よろしいでしょうか。

○竹田委員

はい。ありがとうございます。

○長谷川教育長

どの中学校もたたき台はもうできていると思います。それが実際に教職員にまでしっかりおりて機能しているかというところが重要なだろうと。そこを目指しているという、課長の説明であったと思います。他にはよろしいですか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

11ページについて、「子ども達が快適に学ぶ事のできる教育環境の充実」ということですが、目標指標に私も常々感じている「洋式トイレ整備率」というのが挙げられていて、令和7年度に37.2%と書いてあるんですが、具体的には、例えば1校にいくつとかどこか1校だけは整備できる、とか。どういう数字になるのでしょうか。

○長谷川教育長

はい。教育次長。

○吉岡教育次長兼教育総務課長

トイレの整備計画につきましては、現在1年に12基ほど各学校のトイレを洋式化するという計画を今作っております。その計画を予定通り実施するとともに、現在の高千帆小の整備事業とかそういうところも合わせて令和7年度は最低限この数字はクリアしたいと考えております。

○長谷川教育長

よろしいでしょうか。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

今回議会でもこの件に関して色んなご質問がございました。確かに、本市の整備率は非常に低い現状がありますので、市長もその辺は憂慮されていて、加速化させたいという思いでおられるようです。学校だけでなく公民館等にもそういった整備が必要になってくるのではないかと考えています。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

はい。20ページの「家庭教育支援事業」についての項目に、主な取組が掲げられていて、「家

庭教育支援事業」「家庭教育支援事業の（中学校区分）」とありますが、この度PTAと連携したという取組もされたと思うんですけども、それはこの中には入っていないように思いますが、位置付けとしてはどういう感じなんでしょうか。

○長谷川教育長

はい、社会教育課長。

○船林社会教育課長

はい。家庭教育支援チームについては、今委員さんがおっしゃられましたPTAを中心とした家庭教育支援の取組、これは厚陽小・中学校で行われたものです。PTAが主体となって取組を進めておりますので、市や教育委員会が主体となって取組を進めるものとは少し考え方を異にしております。取組としては方向性は同じ事なんですけど、主体が少し異なっているということで、ここの主な取組のところには挙げてはおりません。

○竹田委員

分かりました。それは仕方がないかなと思います。あと、ここの「4年間で特に力を入れること」の中に、現状と担い手を増やさなければいけないということが書かれています。先日家庭教育支援チームの会議を持たれた時にも、当事者からこのような発言がたくさんありました。今後、どのようにしてこの担い手を増やしていくかというのも、現在の支援チームのメンバーで話してみたいと思っておりますが、今の活動を続けながら周知活動だけでは駄目だと思います。何か特別に、先日の会議でも申し上げたんですけど、育てるところを社会教育課の中で作っていただいて、まだまだこういうことを知らない人もいますし、やってみたいというお声も上がっているように思います。やはり私達のメンバーで各学校でやっている今の状況では、そういうところまでなかなか手が回らないというのが現状なので、ぜひこの周知活動プラス育てていくような組織を、ぜひ作っていただきたいと切実に思っております。

○長谷川教育長

はい。今のご意見、担い手不足はどこにもあると思うんですけども、やはりそのままではいけない、増えない。育成する仕組みを作っていかなければいけないじゃないか、ということですね。それに対して担当課、考えというのはございますか。

○船林社会教育課長

はい。おっしゃる通りだと思いますし、社会教育課としてもそのことを非常に重く受け止めています。しかしながら、では具体的に何をしたらいいのかというのは非常に難しいところでもございます。現在のところ我々として今、力を入れて取り組んでいこうとしているのは研修です。県の研修もそうですが市の研修も充実していて、今活動していらっしゃる方も出ていただきたいですし、その方が少し声を掛けていただいて新しい方に来てもらって研修をしていただくということを一つ考えておりますが、まだ他にもできることはたくさんあると思いますので、試行錯誤しながら、支援チームの皆さんにもいろんなアイデアをいただきながら力を入れていきたいと思っております。

○長谷川教育長

竹田委員も中心になって活動しておられるリーダーだと思っております。そういった方々のご意見も聞きながら今後のリーダー育成、推進していく人たちの輪を広げていく事をしていかなければいけないですね。しっかり意見を聞いて、また新しい活動がスタートできたらと思っております。

○竹田委員

もう一つ、中学校区の支援チームの件ですが、これも他校区へぜひ広げてくださいと前々から言

っておりますが、やはり予算の都合もありますし、みたいなことをおっしゃられてなかなか進みませんけれども、この辺りはどのようにされるんですか。これから広げていかれる予定、ぜひ広げていただきたいんですけど、難しい部分もあるかなと思いますのでその辺りをお願いします。

○長谷川教育長

はい、社会教育課お願いします。

○來嶋人権教育係長

社会教育課の來嶋です。ご意見ありがとうございます。まず前の質問の件ですけど、リーダー育成ということで県の養成講座等ありますが、あちらの方が毎年修了者のデータを市の教育委員会に送ってきています。先程課長の方から研修という話がありましたが、そういった県の研修を終えられた方を市の研修にお招きする、そうするのちょっとした面白いかなという話も課内ではしております。それからこちらの公民館も関わってきますが、令和4年度の公民館が地域交流センター化ということで社会教育はこれまで通りというかもっと拡充をしていくという心構えで、我々社会教育課は協議をしているところですが、そういった公民館等でもしっかり家庭教育支援チームの方が活躍できる場、そういったものも先程「組織作り」とありましたが「場作り」の方も進めていきたいと考えております。

それから今の質問ですが、中学校区の方は数年前から年度ごとに拡充していくという計画がございます。水面下ではありますが、新しい中学校区で新しいチームを作ろうという動きは事務局としては動いております。予算の方も一応つけてもらえるという話もいただいておりますので、また新しく具体的に竹田委員さんからまたご指導いただいて、新しいチームを作りたいと思っておりますので、相談に乗ってください。以上です。

○長谷川教育長

何か他にご質問等ありますか。

(「ありません。」の声あり)

ご意見がないようであれば事務局の方で何かございますか。

○吉岡教育次長兼教育総務課長

はい。貴重なご意見、誠にありがとうございました。内容につきましては概ねご了承いただいたものと受け取っております。この後、計画案につきましてはパブリックコメントの実施をしてみたいと思っております。以上でございます。

○長谷川教育長

今、パブリックコメントにかけるという説明がありました。先程大綱の協議をいたしました、それと併せてパブリックコメントにかけるという理解でよろしいでしょうか。

○吉岡教育次長兼教育総務課長

はい。大綱と同時期に足並みを揃えて進めて参りたいと思います。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございました。

では、その他の(1)の方に戻りたいと思います。関係の職員の方、ご苦労様でした。

県費負担教職員の人事異動について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事異動について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

閉 会

○長谷川教育長

これで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

16時37分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和4年 1月 27日

教 育 長 印

署 名 委 員 印

署 名 委 員 印

会議録を調製した職員 印